

明治維新

国司 信濃(クニシ シナノ) 天保13年(1842)~元治元年(1864)

人物紹介

〈初名〉朝相 〈幼名〉熊之助
〈通称〉徳蔵・丑之助・信濃・親相

萩藩の家老。高洲元忠の次男として生まれ、六歳で国司家に養子に入り、弘化4年(1847)に家督を継ぐ。文久元年(1861)年には大組頭となり、文久3年(1863)の長井雅楽(ナガイ ウタ)の切腹の際には検視役を務め、同年6月、老中に任せられ下関(赤間関)防備総奉行、7月に加判役となった。同年の8月18日の政変により藩が失った政治勢力の回復のため、元治元年(1864)の禁門の変(蛤御門の変)で藩兵を率いるも敗退する。幕府への謝罪のため三家老(益田右衛門介(調べ方案内№.1)、福原越後(調べ方案内№.7))の一人として切腹。23歳没。

和歌に長けており、情に厚かったという。万倉護国神社敷地内には国司信濃の銅像が建立されている。

資料紹介

県立図書館所蔵の国司信濃に関する本

- 伝記
- ・『国司信濃親相伝』 堀山 久夫//国司信濃顕彰会 1964 Y289/KU45
(「秘密」遺書 p110)
(「刻心録」久留米出張の文久3年(1863)五月二十日から六月一日の日記 p158)
(「高田のおしね」信濃の歌90首ほど p286) 別に写本有
- 雑誌
- ・「厚狭毛利・国司・清水 三家の家と人の関係について(二)」 堀山久夫
『くすのき文化』 第2号 楠町文化協会 1969 Y261.1/J 9 p5
 - ・「国司信濃公の馬関戦争」 武波博行
『宇部地方史研究』 通巻39号 宇部地方史研究会 2011 Y262/K 2 p24
 - ・「国司信濃の妻弥佐子について」 堀山久夫
『くすのき文化』 第7号 楠町文化協会 1971 Y261.1/J 9 p5
- 人物略伝
- ・『野史台維新史料叢書13傳記4』 日本史籍協会//編 1974 R210.58/K 2
(国司信濃p14)
 - ・『名家者とダメ家老』 加来 耕三//著 講談社 2006 281.04/N 6
(攘夷を実行して無念の死をとげた若き俊秀p161)

- ◇ リストでご紹介した本は図書館にある本のごく一部です。
このほかにも関連する本がありますので、詳しくはお問い合わせください。

山口県立図書館は明治維新資料の収集に努めています

山口県立山口図書館 総合サービスグループ
TEL：083-924-2114（調査・相談）
FAX：083-932-2817
ホ-ム-ペ-ジ：<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/>

作成日：平成27（2015）年2月28日